政策コメンテーター報告（第２回、意見照会期間：2015年２月27日～３月12日） 深尾　昌峰：公益財団法人京都地域創造基金理事長

質問事項		選択式回答	記述式回答
経済動向			
1	2015年３月上旬から中旬にかけての経済状況について、関連する業界、地域等の現状やご自身の知見・経験等を踏まえ、3か月前(2014年12月上旬から中旬)と比べて良くなっているか、悪くなっているか選んでいただき、その理由をデータや具体的な事例とともに300字以内でご記入ください。その際、前年との違い等お気づきの点があれば併せてご記入下さい。	悪くなっている	
経済の好循環実現に向けた取組について			
２－１	足下の企業収益の拡大が速やかに賃金上昇や雇用拡大につながり、更なる消費や投資の拡大に結び付くためにとるべき対応について、具体的なお考えがございましたら、500字以内でご記入ください。	－	短期的な視点ばかりでなく、中長期的な視点での取り組みが求めらえる。拡大した収益で多様な働き方を実現するような取り組みや、イノベーティブな動きが加速するような環境整備を促すことも必要である。生産性の向上につながり、潜在的で持続的な消費を掘り起こすことにつながる。
２－２	好循環が生まれ始めている一方、非正規労働者や中小企業等への波及が重要との指摘もございます。そうした観点から強化すべき取組について、お考えがございましたら300字以内でご記入ください。	－	非正規労働が「負け組」になるような位置付けを変えていく必要がある。いわば、非正規の連続が「正規」となるような制度的な仕組みづくりや年金・共済制度の拡充により、好循環の波及を急ぐ必要がある。また、職能資格制度などを充実させ、キャリアの可視化や職業能力教育機会の拡充などを進める必要がある。 また、大企業の内部留保などで循環が滞らないように、注視していく必要がある。